

新基地建設反対名護共同センターニュース

岸本氏勝利で沖縄と日本の未来を拓こう！

小池書記局長迎え名護市で新春のつどい



写真=左から仁比氏、小池氏、岸本氏、伊波氏、赤嶺氏など

「新春のつどい」では伊波洋一参院議員、仁比聡平元参院議員（参院選比例予定候補）、赤嶺政賢衆院議員、小池晃書記局長・参院議員が挨拶。小池氏は「今年の沖縄は秋の知事選まで続く選挙イヤーです。その緒戦の名護市長選結果は、沖縄の未来だけでなく日本の未来をも左右する全国的意義を持っています。絶対に勝利させましょう」と訴えました。



日本共産党沖縄県北部地区委員会は5日、名護市内で小池晃書記局長を迎え「名護市長選勝利日本共産党新春のつどい」を開催しました。名護市長選をめぐる情勢を報告した鶴淵賢治県委員長代理は「選挙戦は自公政権対オール沖縄の対決となっている。米軍基地からのコロナ感染の新たな広がりもあり、相手陣営は新基地問題でも完全に受け身になっている」と述べ、12月23日の決起集会の大成功は市民のなかに「みんなで頑張れば岸本ようへい氏を勝利させることができる」との確信を広げている。宣伝戦を先行させ全県からの対話支持拡大を広げに広げ、自公勢力をさらに追い詰めて必ず勝利しましょう！と訴えました。

岸本ようへい市長予定候補は「亡き父の遺志を継ぎ、新基地建設をストップさせ、市民と暮らしと子どもたちの未来を守り貫きます」と力強く決意を表明、大きな拍手を受けました。



伊佐真次北部地区委員長（東村議）の音頭で「頑張ろう三唱」する参加者。

【緊急連絡】

「オール沖縄会議」からの緊急連絡です。コロナ感染症の新たな急拡大のため、1月8日の県民集会（名護市21世紀の森公園）は中止することになりました。

「違法工事は中止を！」今年初のゲート前座り込みに30人余



「不承認」とされた工事は中止せよ

キャンブ・シュワブゲート前で5日午前9時、今年初の座り込みに県民30人余が参加しました。司会の沖縄平和市民連絡会の高里鈴代さん（写真右中央）が「デニー知事が11月25日に設計変更申請を不承認とした時点で工事をストップすべきだ。まして米軍基地内での新たなコロナ感染が急拡大している中で工事を強行すべきではない」と抗議しました。辺野古住民の金城武政さん（92歳）も参加しました。県民は機動隊員との接触を避け、自主的に立ち上がり移動しました。そうした中、工事車両は数十台基地内に入りました。

